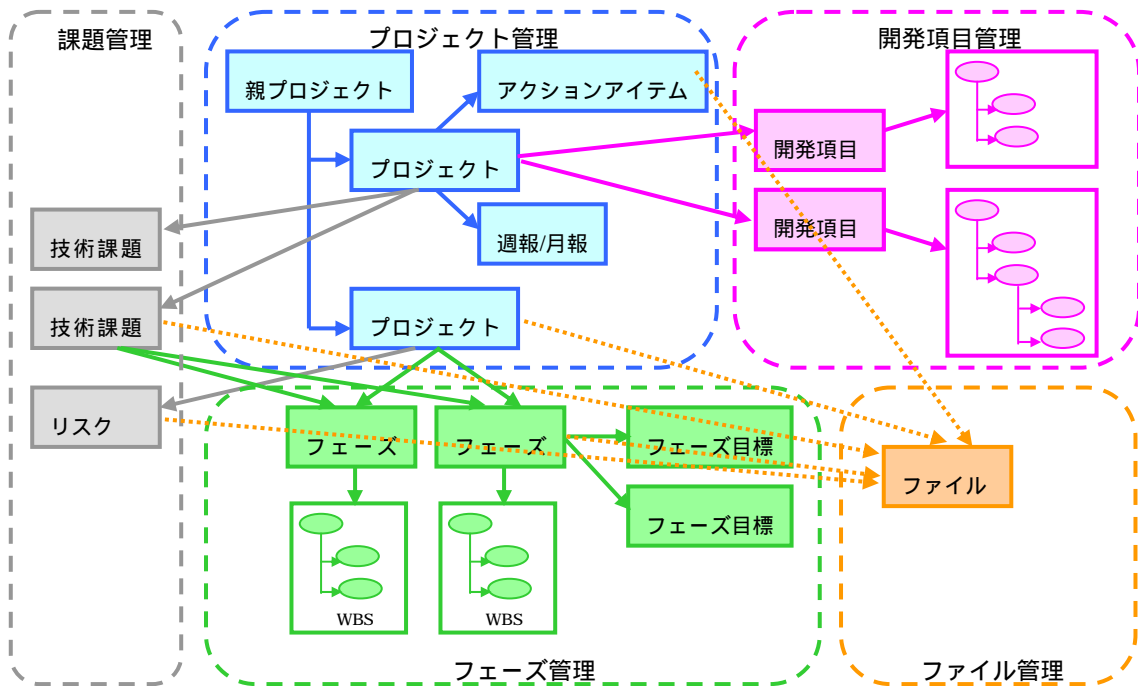


## Project Conductor for Embedded Software の基本機能

### 【プロジェクト作成機能】

- 要件レベルでしか決まっていない作業を開発項目として登録することが可能。
- 開発項目はツリー状に細分化し、機能レベルにまで落として登録することが可能。
- 技術課題やリスクの登録が可能。
- プロジェクトのフェージングをスケジュール作成とは独立して実施することが可能。
- 作業単位に詳細化された WBS へとブレイクダウン。
- 過去プロジェクトから課題や成果物も含めた流用コピーが可能。
- 成功プロジェクトの WBS をテンプレート化することが可能。
- プロジェクト終了日を起点にスケジュールの自動割り当てが可能



### 【進捗管理支援機能】

- 成果物登録をワークフローと併せて適用することにより作業状況の把握が可能。
- テスト消化率、課題達成度や予実差により進捗状態をグラフィカルに表示。
- しきい値を設定することで関係者にアラームを発信することも可能。
- アードバリュー分析結果をグラフィカルに表示。

## 【開発者業務支援機能】

### 報告書作成支援機能

Project Conductor に入力した様々な情報（ガントチャート、課題 etc.）を活用し、週報/月報などの各種報告書の雛形を容易に作成可能。

ログイン時に自分の関係するタスクだけを表示できる My ポータル機能。

職位/職務に応じて必要な情報だけをタイムリーに提供。

## 【PMO（Project Management Office）支援機能】

### 上位管理者のレポート閲覧機能

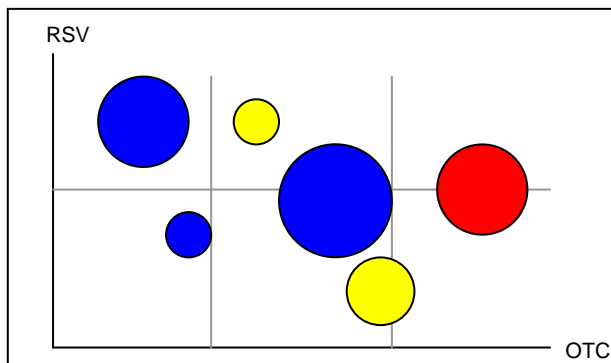
上位管理者は複数プロジェクトのレポートを一覧で閲覧。

### プロジェクト情報のグラフ表示

進捗状況や作業配分比率、バグ収束曲線など状況の把握を容易にするとともに、過去の蓄積されたデータを統計情報として活用可能。

### プロジェクト・ポートフォリオ

あらかじめ設定された属性やしきい値にしたがって、複数プロジェクトを PJ ポートフォリオとして参照可能。プロジェクトのバブルチャート作成。



プロジェクトのバブルチャート

	説明
円の大きさ	規模（タスク数）
色	危険度（高：赤 低：青）
X 軸	単位時間コスト（OTC）
Y 軸	相対戦略的価値（RSV）

## 【その他】

### オフライン入力

DB 管理している情報をプロジェクト単位で XML データに変換することでオフライン入力を実現。XML ファイルを配布することで、アウトソース先企業とのスケジュール共有など、企業や拠点を横断したプロジェクト管理が実現。

### スケジュール表へのコメント入力

プロジェクト計画時及び進捗中に、スケジュール表のタスクにフリーコメントを記載/表示できる。